

平成24年度 新潟市立図書館施策・事業評価シート

※ ◇全館共通項目は、中央図書館を含めた中心館が共通の意識を持って取り組んだ事業。  
◆館の重点評価項目は、中央図書館が重点的に取り組んだ事業。

シートNo.1

中心図書館名：西川図書館

区分	事業名	事業概要	実施結果	評価		
				自己評価	外部評価	
課題解決型図書館	◇全館共通評価項目 ・レファレンスサービスの充実	・市民に身近な生活課題解決のため、レファレンス(調査・相談)サービスを充実させ、迅速かつ的確な情報提供を行う。	レファレンス件数は、9%の増加。	気軽に声をかけていただくためには、窓口で人を多く配置することが必要。また館内の掲示で、この調査・相談機能をお知らせする必要がある。	1 大変評価する。 50% 2 ある程度評価する。 50% 3 評価できない。	・窓口業務が忙しそうで、声をかけずらい時がある。子ども向けにも、分かりやすく目に入りやすい所に掲示することを望む。
	◆館の重点評価項目 ・パス・ファインダーの作成	・西川図書館でパス・ファインダーを作成する。	他の業務を優先させたため作成できなかった。	郷土に関する案内の手引きとして、パス・ファインダーは有益である。学校の生徒の学習にも役立つようなテーマで今年度こそ作成する予定。	1 大変評価する。 25% 2 ある程度評価する。 50% 3 評価できない。 25%	・今後も努力を望む。 ・他の業務とのバランスをとりつつも、施策は確実に実行したい。
分権型図書館	◇全館共通評価項目 ・地域資料の収集	・区を代表する人物・自然風土・産業等の地域コレクションの形成と展示を実施する。 ・特に地域在住者の著作の収集に努める。	資料が古く傷んでいても貴重な蔵書として受け入れて、見てもらえるよう開架に置くことに努めている。また資料によっては、その価値に応じて複本として何冊も受け入れる。	資料数は、中央区、秋葉区に次いで多くなった。地域・行政資料は、特に充実が必要な分野なので、蔵書にすべき資料で漏れているものは入手に努める。	1 大変評価する。 83% 2 ある程度評価する。 17% 3 評価できない。	・資料の古さ、保存の良しあしに惑わされず、必要と判断した資料は確実に収集、保管をお願いする。
	◆館の重点評価項目 ・利用者懇談会の開催	西蒲区の居住者を対象に、図書館について率直に語り合い、多様な声を聞くことを目的とする。	実施しなかった。	懇談会開催は、市の図書館では皆無である。実施には、多くの方々が関心を持ち、話し合いに集まるようなテーマの設定が必要である。	1 大変評価する。 17% 2 ある程度評価する。 50% 3 評価できない。 33%	・懇談会は参加人数を確保するのが難しいと思う。今後の課題である。 ・あまり大きな期待をせずに、まずは実施してみようか。 ・開催しても人が集まるか疑問。
学・社・民融合型図書館	◇全館共通評価項目 ・ブックスタートの実施	・1歳誕生歯科健診会場において、赤ちゃんと保護者に絵本の読み聞かせを体験していただく「ブックスタート」を実施する。	巻地区(巻地域保健福祉センター)と潟東地区(潟東健康センター)にて年間18回実施。参加人数は、348人。ボランティア数は、24人。	ブックスタートは順調に実施している。会場に飾り付けを行った。今年度は、ブックスタートのボランティア養成講座を実施する予定である。	1 大変評価する。 100% 2 ある程度評価する。 3 評価できない。	・大変良い施策である。 ・保護者、赤ちゃんに大変喜んで絵本を受け取ってもらっている。会場でもっと図書館のPRをしたらどうか。
	◆館の重点評価項目 ・学校図書館の夏休みの地域開放支援(学校図書館支援センター)	・夏休み期間中、学校図書館の地域開放に向けた支援を行う(複数校)。	7校で計8回実施(巻南小学校、山田小学校、升潟小学校、中之口西小学校、潟東西小学校、漆山小学校、松野尾小学校)。参加者数は、275人。	学校と市立図書館が連携し、子どもたちの読書活動を推進する。学校司書、コーディネータ、ボランティア等と協働して事業を実施する。年々増加の傾向にある。	1 大変評価する。 100% 2 ある程度評価する。 3 評価できない。	-----
パートナーシップ型図書館	◇全館共通評価項目 ・共催事業の実施	・市民との協働をいっそう推進するため、共同主催者として事業の企画または運営に参加し、責任を分担して実施するものである。	新たな共催事業は、実施しなかった。	共催事業の趣旨は、「事業概要」のとおりで、回数は、中央図書館の次に多いことは変わらない。今後はより質的な向上を考えて行く段階にある。	1 大変評価する。 33% 2 ある程度評価する。 66% 3 評価できない。	・図書館でこのような事業活動が分かるようにし、状況を作っていくことが大切。 ・目標をあまり高く設定しない方が良い。 ・継続的な取組みを期待する。新規事業があれば積極的に取組みを。
	◆館の重点評価項目 ・ボランティア交流会の開催	西蒲区図書館で実際に絵本の読み聞かせボランティア活動を実践している方を対象に交流会を開催する。	開催前にボランティアの方々にアンケートを実施し、話し合いのテーマ11点、図書館への質問回答11点に整理して、2部構成で話し合いをした。参加者数は、9人。	次回開催するときには、話し合いのテーマを数点に焦点を定めて、活発に議論が深まるように企画する。	1 大変評価する。 60% 2 ある程度評価する。 40% 3 評価できない。	・他のボランティアの方々との交流は、良い刺激や参考になることが多いので続行を望む。